

いきいき子どもが育つまち いきいき誰もが暮らすまち

増田かおる



議会レポート Vol.29

http://www.masuda-kaoru.net/ →

matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com

〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel/Fax 047-361-2103



毎年異常気象が話題ですが、6月3日に関東地方で”ひょう”が降り、松戸市では南部の農作物に大きな被害が出ました。私の住む矢切地区で収穫直前のキャベツがほぼ全滅したことを知り、呼びかけに応じてくれた議員の皆さんと見てきました。穴の空いたキャベツの一部は子ども食堂などに活かされましたが、こんな被害は初めてだそうです。市や県に対し支援策を要望しましたが、千葉県は資金の貸付けのみ、松戸市からは一切援助がなく問題だ⊕と思っています。気候変動により、この先どんな被害があるか分かりません。地域から農業を元気にするために、農業政策を充実させたいです。

6月議会の一般質問より（抜粋）

「現地建替え」？or
「新拠点ゾーン（※1）への移転」？？

市長選で複数の候補者が訴えていたこの問題、まだまだ続いています！本郷谷市政が4期目に入ったため改めて問いました。

Q 市民や議会との合意形成をどうかっていますか？

A 学識経験者、関係団体代表、公募市民等で構成される、市長の諮問機関「松戸市庁舎整備検討委員会（以下、検討委員会）」で、今後の市役所のあり方・機能等を検討します。市民アンケートや職員のグループワーキングの結果等も報告し、以前行った必要面積調査（※2）を修正します。検討委員会は、9月上旬に中間答申、来年3月上旬に最終答申を受ける予定です。以上を議会の特別委員会に報告しつつ、丁寧な合意形成に努めます。

（※1 松戸駅東側、ヨーカドー裏手の相模台エリア）

（※2 松戸市は2020年度に1,600万円をかけて新市庁舎必要床面積をコンサルに算定依頼し、43,000㎡と結果が出ていますが、なぜか見直すことになり、その予算が2021年12月に議会で可決されました。）

増田かおるからのひとこと

耐震性が乏しい市庁舎本館と新館の建て替えは急がなければなりません。

多額の税金を使う事業ですが、松戸市の財政には余裕がありません。現市庁舎の15,500㎡の敷地も建物も、全てが市民の資産・財産です。未来への投資をする必要もあるでしょうが、新拠点ゾーンへの移転に合理性や必要性が見出せない限り、私は移転に賛成できません。議会に対する説明と国への要望内容の食い違いが執行権の範囲（だから良い？）とは、議会（市民）を尊重しているとは感じられません。相変わらず説明が足りない市の姿勢に疑問を感じます。市民の資産・財産を大事にしたいので、これからも話し合いを続けます。

ところが、
公共施設再編検討特別委員会では…

この6月から公共施設再編検討特別委員会（特別委員会）の委員になりました。

6月28日の特別委員会で、新拠点ゾーンの市庁舎移転候補地（法務局跡地）を「市役所機能整備用地」として国に要望し、6月21日に受理されたと報告がありましたが、その前日（20日）に開かれた特別委員会に、この報告は全く無かったのです。ビックリでした！

Q1 3月の予算委員会で、新拠点ゾーンの土地取得は「公共用地」として購入するとの説明に議会が承認した（私は反対）ことと、国への要望内容が食い違うことについてどう考えているのですか。

A1 執行権の範囲内だと認識しています。

Q2 国に対して「市役所整備用地」とした理由は。

A2 国から目的をはっきりさせよと言われました。

Q3 なぜ特別委員会の決定を待てなかったのですか？

A3 来年3月の土地取得に間に合わないためです。

